

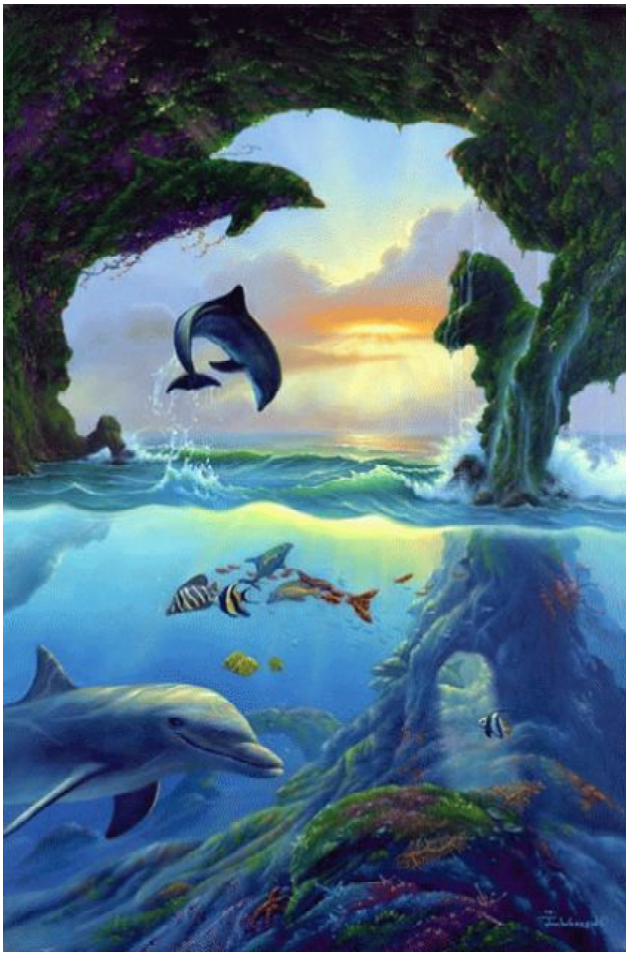
見方を変えてみると

一年七組 満仲安紀

自分が考えもしなかったことを、人から指摘されたこと
はないだろうか。

左の図を見てみよう。イルカが何頭か見えるだろう。しかし、本当にイルカはそれだけだろうか。よく見ると、岩陰に隠れていたり、魚が集まってイルカになっていたりなど、中心に見るものを変えるだけで色々なものが見えてくる。

日常生活でも、同じようなことはないだろうか。雨上がりの空を見たとき。そこに鮮やかな虹があったとして



も、その周りの雲が珍しい形だったなら、虹もただの風景
になってしまふのだ。

次の図はどうだろうか。一見、ベートーヴェンに見えた
絵が、一八〇度向きを変えてみると、一瞬のうちにナポレ
オンとひげを生やしたおじいさんの絵に変わってしまう。
このように、ものを見る角度を変えるだけで、ものの見方
が変わるのだ。

これは、何も、絵だけに限
ったことではない。人でも、
最初は苦手だと思っていた人
のことを少し違った角度から
見てみると、実は、とても気
の合う人だったりするのだ。

私たちは人間は、自分が思っ
たことが正しいと思いついで、
なかなか自分の見方を変えな
い。しかし、その思い込みを
やめて、中心を変えてみたり、
他の角度から見てみることに
より、その物の他の面に気づ
き、今までよりもずっと多く
のことを発見し、驚きや喜び
を味わえるかもしれない。

